



## 説教要旨「分からないから恐ろしい」

ルカによる福音書3章15～22節

洗礼者ヨハネは、イエス様が本格的に活動を始められるよりも前に活動した預言者です。“洗礼者”といわれているように、彼はヨルダン川で人々に洗礼を授けていました。当時のユダヤ教で洗礼は、異邦人がユダヤ教に改宗する際の儀式の一部として行われ、汚れを洗い流す象徴とされていました。けれども、ヨハネは異邦人の改宗者のみを対象とするのではなく、すでにユダヤ教徒であるユダヤ人をも罪に汚れた存在として、その罪を洗い流すためにユダヤ人たちに洗礼を授けていたのです。

そして洗礼者ヨハネは、「わたしよりも優れた方」（16節）としてイエス様を指し示します。イエス様による洗礼は、ヨハネのように罪を水で洗い流すものではなく、麦のもみ殻のように人間にまとわりついている罪をきれいに取り去って、罪を人からより分けて、実は大事に倉にしまって、罪のもみ殻は火にくべて焼き払う、それがイエス様の洗礼だと言うのです。ヨハネは水で、罪を洗い流す洗礼を授けていましたが、それではぬぐい切れない罪があると思っていたのかも知れません。

わたしたちの救い主であるイエス・キリストは、1人の人間として歩み、十字架の上で「わが神、わが神、なぜ、わたしをお見捨てになったのですか」と叫べいながら死んで下さいました。罪深いわたしたちの罪だけを滅ぼすために、なんの罪も無い身でありながら、罪ある者の罪を負って裁きを受けて下さいました。そういう裁きを通して、わたしたちの罪を焼き払って、新しい命に生かそうとしてくださる方なのです。そして神様は、十字架の死からイエス様を甦らせて下さいました。人間の力では決して越えることのできない、生と死の間にある壁を打ち破り、罪の力を焼き滅ぼし、新しい命を創造して下さいました。そして、よみがえられた救い主は、かつてご自分を見捨てて逃げ出した弟子たち、「あの人のことは知らない」と言ってイエス様から離れてしまった弟子たちのもとに現れ、火と聖霊によって彼らを清め、新しく生かし、キリストを証しする者として立てられたのです。

（2023・1・8 説教者：稲垣真実）